



● 草の根パートナー型

平成22年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	エチオピア
2. 事業名	エチオピア国ティグライ州農作物多様化・改良農業技術促進事業—零細農民に食と生活向上の機会を—
3. 事業の背景と必要性	エチオピアはサハラ以南の多くの国々と同様、食糧安全保障の達成という大きな課題に直面している。そして、高い人口増加率と農業セクターの未熟な技術発展のために人口の大部分が極度の貧困状況にある。ティグライ州はエチオピアで最も貧しい州の一つで、不安定な気候条件によりほとんどの農家が自家用食糧の確保に至っていない。それゆえ本事業を通じた農業生産性の向上は農家の生計を向上させ、また、農産品加工の活動とマーケティング戦略の開発は、農民達により高品質の農作物をもたらす、農家の収入源創出に新たな機会をもたらす。 これまでの活動で、笹川アフリカ協会（Sasakawa Africa Association-SAA）は、陸稲がティグライ州の環境によく適応し、他の作物がこれまで育たなかった土地でも、水分を多く蓄える土壌で、一定量の米を生産できることを示してきた。作付面積は2009年までの3年間で0から5,000ヘクタールにまで拡大した。本事業では、ティグライ州での米生産と加工の更なる拡大を目指すと同時に、新たなマーケットへのポテンシャルをもつ、その他の農作物と伝統的な農作物に対する改良技術の普及を行う。 また当協会はエチオピア政府の農業技術普及システムとの密な協力関係の下、普及員や農民のキャパシティビルディング、費用対効果の高い普及モデルの構築、そして普及活動の持続性の確保を行う。
4. 事業の目的	農作物の多様化と改良農業技術の使用を通じて、対象郡の零細農家の農業生産性と収入が向上する。
5. 対象地域	ティグライ州（西部2郡、北西部2郡、南部2郡）
6. 受益者層（ターゲットグループ）	対象地域の零細農家（約4,000名）
7. 期待される成果及び活動	成果1. 新たな農作物（米／その他の代替作物）や従来の農作物の栽培に改良農業技術を用いて生産する農家の数が増える。 <活動> 農業生産性を向上させ、農作物の生産システムを多様化させるため、新たな農作物や従来の農作物の栽培に対する改良農業技術のトレーニングとデモンストレーションを実施する。 成果2. 新たな農作物（米／その他の代替作物）と従来の農作物に対する農産加工・貯蔵に関する改良技術を利用する農家の数が増加する。 <活動> 新たな農作物と従来の農作物に対する農産加工・貯蔵に関する改良技術のトレーニングを実施する。上記活動は、収穫された農作物の質を向上させ、農民が農作物を販売するのをより容易にする。 成果3. 組織化された生産者グループが農作物の販売ルートを獲得する。 <活動> 農民を組織化し、マーケティングに関するトレーニングを行う。また、マーケット調査を通じて組織化された農民グループが販売先を特定するのを支援する。
8. 実施期間	2011年7月～2015年7月（4年間）
9. 事業費概算額	99,431千円
10. 事業の実施体制	アディスアベバ事務所常駐のプロジェクトマネージャーが、現場を定期的に訪れ、プロジェクトの監督及びアドミ業務を行い、JICAエチオピア事務所との連絡役を担う。ティグライ州には支所を開設し、プロジェクトコーディネーターとアシスタントコーディネーターが、対象地域での全活動のマネジメントとアドミ業務、現地協力機関との調整を担う。プログラムオフィサーは専門分野に応じた活動を実施する。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	笹川アフリカ協会
2. 活動内容	零細農家の生産性向上のための生産技術支援、農作物加工・貯蔵技術の技術移転、零細農民とマーケットの関係構築に関わる官民連携促進、モニタリング・評価事業